

# 海事資料 FAX 短信

(財) 日本海事広報協会

・ 海事情報部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページアドレス <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail [jo-ho@kaijipr.or.jp](mailto:jo-ho@kaijipr.or.jp)

このFAX短信は、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体が最近発行した機関誌や海事関係資料の主な項目、海事団体のイベント情報などをご紹介します。

## 海のイベント情報等

### ・ 海技大学校研究発表会

(独)海技教育機構 海技大学校では、平成20年度研究発表会を7月6日(月)、13:30~17:30、兵庫県芦屋市西蔵町12番24号の同大学校西教室3階306教室で開催する。聴講、事前申込不要。詳細は、同校教務課(Tel0797-38-6281)まで。

### ・ 国立大学法人東京海洋大学が「特別展示 天皇陛下の魚類学ご研究」を開催!

天皇陛下は長年、ハゼ分類のご研究に取り組み、複数の専門学術雑誌に約30本の論文を発表されたり、魚類図鑑のハゼの部分の共同執筆もされている。

東京海洋大学では、これらご研究の成果を、7月1日(水)から30日(木)まで、同大学の水産資料館2階展示室(品川キャンパス)で、展示する。

開館時間は、10:00~16:00(土日閉館、7月20日は開館)、7月20日は多紀保彦同大学名誉教授による講演会「皇室と生物学ご研究」(仮題)が開催される。

開催時間は、14:00~15:00で、先着50名(入場無料、事前申込不要)。

## 機関誌・広報誌等

<p>「mi/n/na/to」(東京湾通信)Vol. 12 東京湾の発展を支えた港湾・空港技術に注目 港湾空間高度化環境研究センター 03-5408-8291</p>	<p>「海難及び海洋汚染の防止にかかる調査研究サマリー」 (一日海防の50年の活動一) 日本海難防止協会 03-3502-2231</p>
<p>「Ship&amp;Ocean Newsletter」No. 211 波浪推進船マーメイドIIの航海 海洋政策研究財団 03-3502-1828</p>	<p>「海上保安新聞」第2904号 海上標識への船舶接触 平成20年度95件(当て逃げ7割)、前年度比12件増。 海上保安協会 03-3297-7580</p>

<p>「うなばら」No. 514 マネージャーたちの「ピンチはチャンス」MOLの現状と展望 商船三井 03-3587-7665</p>	<p>「YUSEN」No. 622 特集 未来のカタチが見えてきた 「NYK Super Eco Ship 2030」 日本郵船 03-3284-5189</p>
<p>「K”LINE NEWS」No. 595 米国ロングビーチ港の「グリーンフラッグ」4年連続受賞 川崎汽船 03-3595-5063</p>	<p>「後輩に伝えておきたい話」 海技の伝承のために(第六集) 睦会 商船三井横浜支店内 045-212-7703</p>

日本海事広報協会の  
旬刊紙「海上の友」

6月21日号の主な記事

◆動静監視と自衛策で海賊対策

陸上から運航を支援する日本郵船  
安全環境グループ

◆船員募集と訓練は前向きに！！

アジア船主フォーラム  
インド加入で世界船腹の50%に  
第18回総会で共同声明

◆日本海事広報協会会長が交代

根本二郎前会長：「母なる海を愛し、  
海の恩恵に感謝」の理念で活動。  
鈴木邦雄新会長：「海事産業全般の  
進歩発展に役立ちたい」。

「海上の友」購読料

年間10,323円

1カ月860円(税・送料込)

日本海事広報協会の  
隔月刊誌「LA MER」

7月／8月号の主な記事

◆特集 海フェスタよこはま

◆イラスト&エッセー 浜の風にのって

◆絵はがきで見る横浜港ゆかり  
の客船

◆エッセー 山崎洋子

◆横浜港秘話 祖父江一郎 ほか

◆連載

シリーズ外航船／内航船

海の不思議を追って 土井全二郎

海族の系譜 ①海賊 山田吉彦

名船発掘 筑後丸、フィンジェット他

「LA MER」 定価700円

(税込)

・ご購入申込は、全国有名書店  
又は弊協会まで。

・定期購読も承ります。